

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくら第二			
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 11日		～	令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 11日		～	令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースの拡大及び雨天時などに体を動かす目的で、小規模の体育館を設置した。	狭いプレイルームでは難しい身体を動かす活動を行う際や雨天時等は体育館を使用し、活動プログラムが固定化しないようにしている。	ご利用者様の意思も尊重しつつ積極的に体育館を使用し、身体を動かす集団遊び等を取り入れ、安全に楽しく活動出来るよう努めています。
2	子どもや保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（又は、児童発達支援計画）を作成している。	保護者と面談を実施し、目標の意図や支援内容の説明を行っている。また、保護者のニーズも面談の際に把握し、支援内容の追加・変更を図っている。	面談時以外にも引き渡し時や電話によるニーズや課題の共有も行っているが、定期での面談以外での面談の機会の提供も周知していく。
3	長期休みや土曜日等は外出や行事を取り入れ、施設内では得られない経験や体験が出来るよう努めている。	公共施設等に外出する際は事前に活動内容やスケジュール・ルール等を説明し、社会性が身につくよう支援している。	地域住民や地域の他の子どもとの交流等、現在実施できていない活動を取り入れ、活動内容が固定化しないように努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動概要や行事予定の子どもや保護者に対する発信について	毎月配布している予定表に活動の様子を掲載している。又、行事等通常と異なる活動を行った場合には写真等で活動の様子をお知らせしているが、頻度としては不足している。	ホームページのブログや行事予定の更新頻度を増やし、子どもや保護者に対する情報の発信を増やしていく。
2	各種マニュアルの策定、避難訓練の実施等の保護者への周知・説明について	各種マニュアルは策定し職員間での周知は行っているが、保護者への周知が出来ていない。又、避難訓練については予定表に掲載している活動の様子にて発信しているが保護者への十分な周知は行っていない。	順次ホームページへのマニュアルの掲載、避難訓練実施時はブログ等での発信も行い、保護者へ周知していく。
3			